

道営工業用水道

「減資」について



北海道

その先の、道へ。北海道

Hokkaido.Expanding Horizons.

令和2年1月
北海道企業局



「減資」とは

○ 平成23年の地方公営企業法改正により、公営企業においては議会の議決を得た上で、資本金の取崩し(いわゆる減資)が可能となった。

○ 減資には、剰余金(現金)の配当を伴う有償減資と、配当を伴わない無償減資があり、無償減資は、未処理欠損金の減少による貸借対照表の改善が主な効果。

繰越欠損金1,500を無償減資で解消する場合

借方		貸方	
資産	固定資産等 1,500	負債	企業債等 1,000
		資本	資本金 2,000 繰越欠損金 ▲ 1,500
合計	1,500	合計	1,500



借方		貸方	
資産	固定資産等 1,500	負債	企業債等 1,000
		資本	資本金 500
合計	1,500	合計	1,500

※会計処理 (借)資本金 1,500 / (貸)繰越欠損金 1,500

工業用水道事業の経緯及び現状

苫東工水建設
事業の中止



ダム負担金など未稼動
資産の整理



約359億円の未処理欠損
金が発生(平成18年度末)



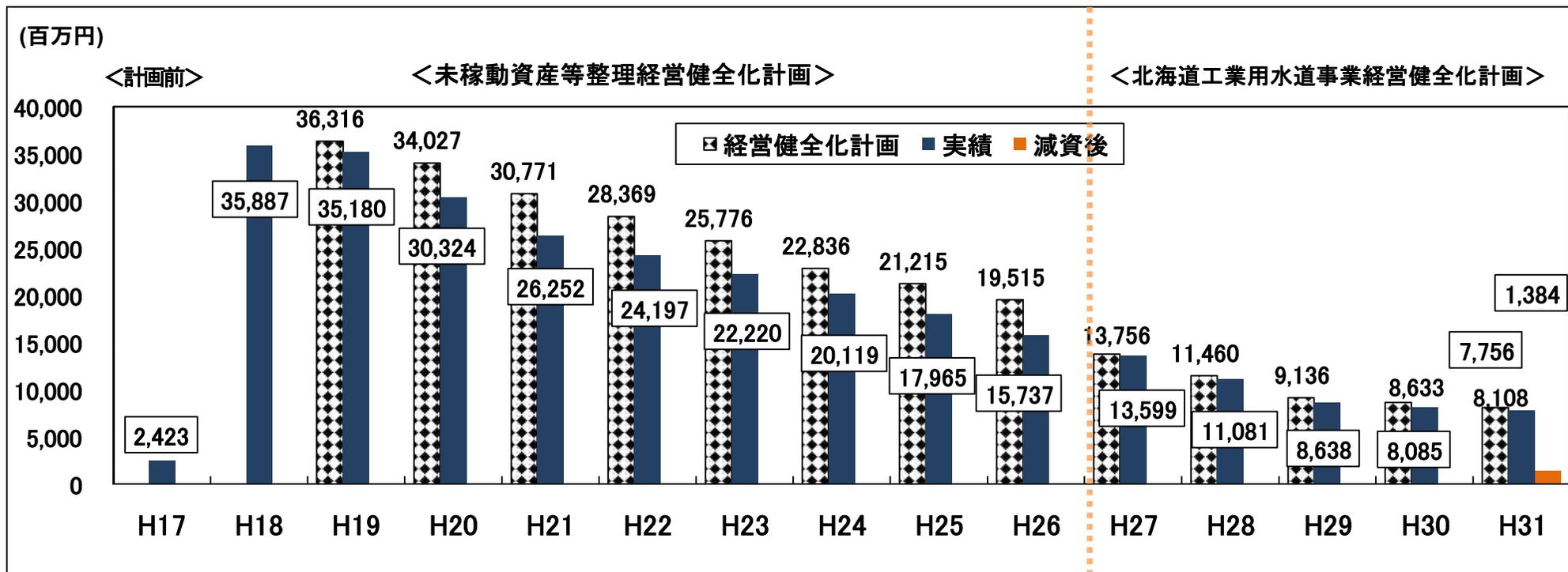
経営健全化計画の実施

H18~26 未稼動資産整理経営健全化計画

H27~31 北海道工業用水道事業経営健全化計画



平成30年度末時点
約81億円

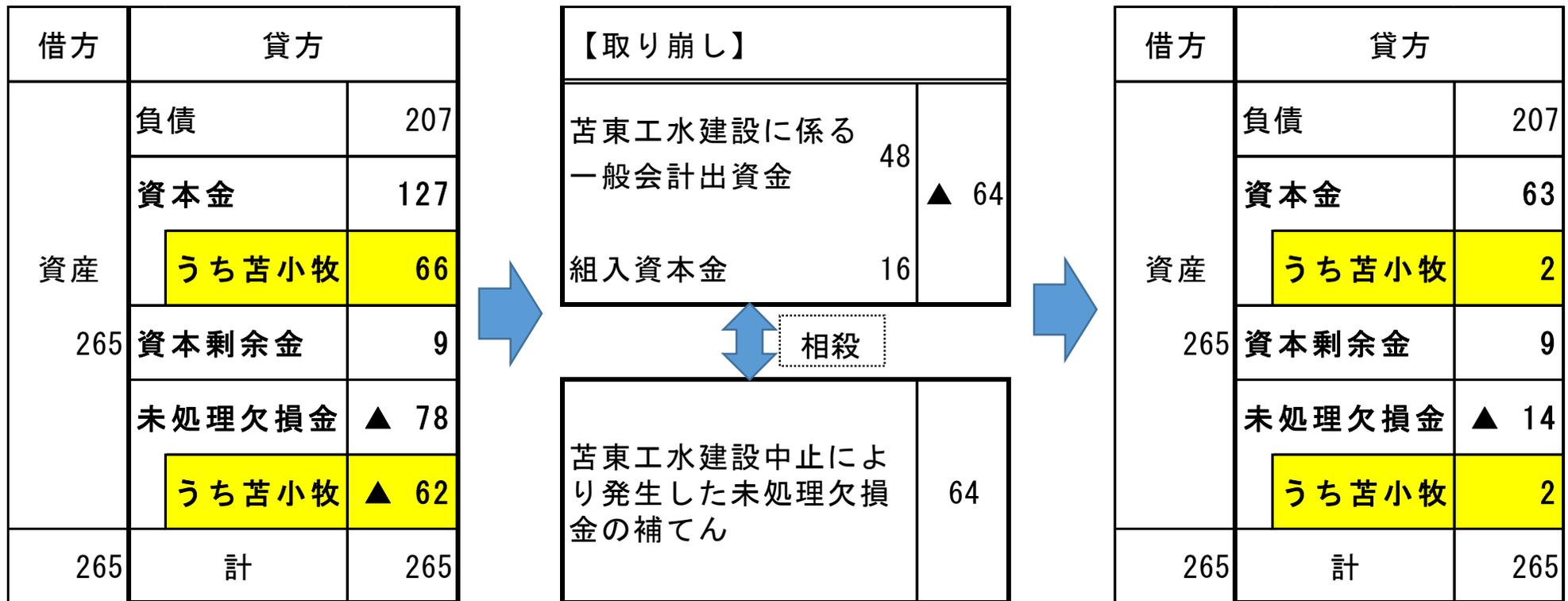


「減資」の実施について

- 減資により、今年度決算での苦小牧工水の未処理欠損金解消の目処が立ったことから、今年度末において減資を実施する方針（無償減資）。
- 減資により、予算・決算書類において苦小牧工水の経営実態に即した財務状況を示し、住民や議会に対する情報の開示、公営企業の経営の「見える化」を適切に推進。

【減資による貸借対照表の改善】

(単位: 億円)



※R1年度当初予算数値による試算

今後のスケジュール

- R2年2月 道議会へ減資実施の議案提出
- R2年3月 道議会の議決(予定) ⇒ 減資の実施